

2016年11月24日

JR東日本 仙台支社

しんじょうだて

新城館トンネル上部太陽光発電所の運用開始について

JR東日本では、CO₂削減による環境負荷低減を目的に再生可能エネルギーである太陽光発電の導入を進めています。

仙台支社では、福島県須賀川市の東北新幹線「新城館トンネル」上部の空地に太陽光パネル等を設置する工事を昨年7月から行ってきましたが、このたび完了し、12月7日（水）から運用を開始することとなりました。

なお、運用開始に伴い落成式を行います。

1 概要について

- | | |
|------------|---|
| (1)設置場所 | 福島県須賀川市稲字古館地区
東北新幹線 新白河～郡山間 新城館トンネル上部 |
| (2)名称 | 新城館トンネル上部太陽光発電所 |
| (3)設置面積 | 5,759 m ² |
| (4)パネル数 | 1664 枚 |
| (5)発電出力 | 433kW |
| (6)想定年間発電量 | 約 39 万 kWh（一般家庭 108 世帯分） ※一般家庭一世帯約 3,600kWh |

2 落成式について

太陽光発電所の完成に伴うセレモニーは以下により執り行います。

- | | |
|-------|-------------------------|
| (1)会場 | 福島県須賀川市稲字古館地区・新城館トンネル上部 |
| (2)日時 | 12月14日（水） 10時00分～10時30分 |

設置状況



現地案内図

